

若事研本報

No. 1 9 8
編集・発行
岩手県公立小中学校
事務職員研究協議会
総務部
平成29年1月31日

祝 岩手県教育長表彰受賞 全国大会発表特別研究委員会

岩手県教育長表彰受賞に寄せて

岩手県公立小中学校事務職員研究協議会 会長 高橋 広道

11月17日、全事研山形大会発表特別研究委員会が、平成28年度岩手県教育委員会教育長表彰を受賞しました。特別研究委員の努力が教育長表彰という形で評価されたことは、県事務研での研鑽や活動が評価されたこととうれしく思っています。

いままでの小中学校事務職員の被表彰者は2団体1名であり、多くの優れた実践がなされていても、表彰対象として推薦されることが少なかったと感じていました。今回の表彰は、研究・実践をすすめたことや具体的な成果・評価を得たことなどから代表校の校長からの推薦により受賞することができたこと、関係機関の理解を得ることができたことが、大きな成果であったと考えています。今後、個人の実践や共同実施グループでの実践など多くの優れた取り組みが評価されることを期待しています。

山形大会研究責任者 柴内 真由美

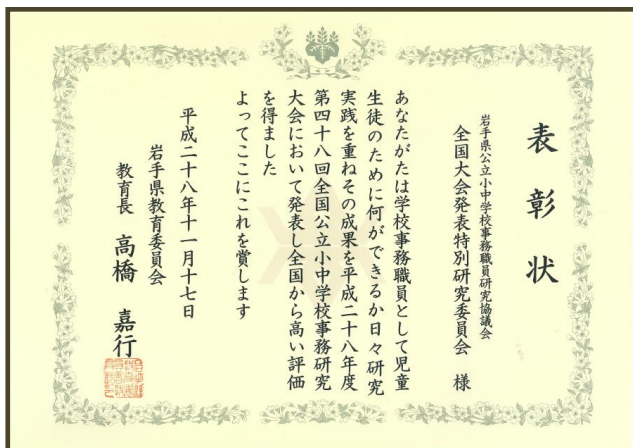
特別研究委員会としての受賞ですが、山形大会の発表は、先輩方からの財産である「いわてのランドデザイン」の実践について具体的にまとめたものです。ですから、今回の受賞は県事務研全体としていただいたものであると思っています。

先輩方にあらためて感謝するとともに、さらに精進していかねば、と感じています。

なお、今回の受賞を山形大会助言者の木岡先生と福島先生にお知らせしたところ、お二人とも大変喜んでくださいました。



(県教育委員会委員室にて菊池透教育次長さんと)



受賞者のみなさん (敬称略)

全国大会発表特別研究委員会

洋野町立大野小学校	主任主査	下村 隆
遠野市立遠野中学校	主任主査	菊池 和子
奥州市立水沢南中学校	主任主査	及川 正良
北上市立江釣子中学校	主査	阿部 知恵
盛岡市立仁王小学校	主任主査	柴内真由美
奥州市立広瀬小学校	主査	高橋 広道
宮古市立鎌ヶ崎小学校	主任	吉田 純

第47回岩手県公立小中学校事務研究大会

10月7日(金)、いわて県民情報交流センターを会場に、300名を超える参加者が集い、第47回岩手県公立小中学校事務研究大会が開催されました。

功勞者表彰

平成28年度 東北事務研功勞者、また、県事務研功勞者として、4名の方が受賞されました。

おめでとうございます。



東北事務研功勞者 高橋 育子 様

県事務研功勞者

伊藤 義幸 様 (八幡平市立西根第一中学校 事務長)

高橋 育子 様 (28年3月盛岡市立向中野小学校ご退職)

小林 孝夫 様 (28年3月釜石市立釜石中学校ご退職)

田村 望 様 (二戸市立福岡小学校 主任主査)



講演

『明るい学校の未来を描く』

ー児童生徒一人ひとりに向き合い寄り添う

学校教育の充実と切れ目のない学びの保障ー

講師：岩手県教育委員会教育委員 八重樫 勝 氏



幅広い知識・経験をお持ちの八重樫先生のお話は、ユーモアを交えながらも、心にしみるお話が多く、笑いもあり、時には涙し、大変引き込まれるものでした。

当たり前のことを当たり前に行うことは、仕事をする上でも、ひとりの人間としても大切なことであり、学校で働く一人として、学校の経営を支える一人として、自分の仕事に誇りを持って頑張ろうという活力をいただきました。

八重樫先生の「これはまた次の機会に…」というお話に、終了後のアンケートで参加者からは「もっとお聞きしたかった…」という声もありました。



分科会 ～参加者より～

第I分科会

「明日に向けた学校事務の取り組み」

～震災復興をめざす学校の二一ズに合わせた一人一研究～

釜石支部

想像を超える災害に襲われ、全てが「今まで通り」とはいかない状況で、事務職員がどのように教育活動を支えていったのか興味があったため、この分科会に参加しました。一人一人が児童生徒のことを第一に考え、厳しい状況の中で、少しでも良い教育環境を実現させるために尽力したことが強く感じられる発表でした。図書室の椅子の修繕、支援団体と連携しての学校図書館整備・システムの導入、PTAと協力して仮設校舎の環境改善など業務の多様さに驚きました。



同じような環境に置かれた時、果たしてここまで積極的に学校全体の動きに関わることが出来るだろうか？と自問しました。

日々自分の分掌の仕事に追われ、全体を観測し立ち回ることなど到底出来ていない現在の状況に反省しました。まず目の前にあることを確実にこなし、常に子ども達のことを考える職員でなければいけないし、そうなるためにも自分を高めなければと改めて感じました。

第Ⅱ分科会
第1分散会

「学校事務における教育支援」
～子どもの育成に役立つための実践～

九戸支部

九戸地区事務研では、学校の課題解決に向けたグループ研究による身近な実践や取組について紹介をされました。分科会に参加するまでは教育支援と聞くと、ハードルの高いもので難しい実践のことだと捉えていました。

分科会では「学校徴収金の現金集金から口座振替への移行」や、「文書廃棄」「環境整備」に関する実践の紹介まで、多岐にわたる実践について発表を聞くことができ、自分の学校の課題について改めて考える良い機会となりました。

今回の発表では「教育支援には学校ごと、職員ごとの様々な形があること」「子どもたちのために学校を変えていこうという意識を持って日々の実践を行うことも教育支援である」という言葉をお教えいただき、教育支援は特別に難しい実践だけではないことを学ぶことができました。今回学ばせて頂いた実践・意識は、これからを担う若手職員の日々の実践の糧となると思います。



第Ⅱ分科会
第2分散会

「組織としての教育活動支援をどのように構築するか」
～共同実施組織における教育活動支援のかたち～

下閉伊支部

宮古市では、月3回の共同実施業務の中で、手当認定や帳票等点検の他に、文書情報のデータ配信や教材の共同購入、施設設備の安全点検、さらには、構成校を訪問し希望に応じた文書や備品の廃棄、教材室や倉庫整理、図書業務等、多岐にわたる教育支援を行っている旨の報告がありました。

分散会では、個人や組織でどのような教育支援をしているか・できるかについて、職名ごと9グループに分かれ、意見や実践等の交流が行われました。日々の業務そのものが教育支援であると考えていますが、職員室にいることもひとつの教育支援であり、教員が教育活動に専念できるのではないかという意見も、グループ内では出されました。



教育支援の素材はどこにでもあります。共同実施が考える支援と学校の求める支援にギャップがあるのが現実かもしれませんが、これまでの個人の取り組みから、共同実施組織としての取り組みとして、教育委員会等と連携しながら、一歩踏み出していかなければと感じました。

いわての学び希望基金

今年もご協力いただいた研究大会会場での募金活動。参加者のみなさんからの募金額は10,600円でした。ありがとうございました。

岩手県公立小中学校事務職員研究協議会では、「いわての学び希望基金」へ協力しています。この基金は、東日本大震災によって親を失った子どもたちが学校を卒業し、社会人として独り立ちするまでの支援を行う基金です。



県事務研セミナー



1月6日(金) 盛岡市プラザおでっにおいて、盛岡大学の福島准教授を講師にお迎えし、県事務研セミナーが開催されました。参加者は100名でした。

「教育課程と学校事務職員」と題して、教育改革において重要視されている「教育課程の編成」「カリキュラム・マネジメント」について、ご講演いただきました。実際に、教員の要望した物品購入をする場面を想定してグループで演習に取り組み、福島先生(教員役)と参加者(事務職員役)とでロールプレイしてみるという、楽しい場面もみられました。



第2回支部代表者会

12月9日(金)、盛岡市タカヤアリーナにおいて開催された今年度2回目の支部代表者会は、各支部の支部長と県事務研役員が出席し、各部の事業報告と今後の予定について協議、確認



がなされました。また、各支部の研究活動等をはじめとする事業とその取り組みについての紹介があり、意見交流が活発に行われました。



平成29年度 研究大会のお知らせ

『第48回 岩手県公立小中学校事務研究大会』

紫波支部、花巻支部、気仙支部の発表が予定されています

期 日：平成29年10月6日(金)
会 場：いわて県民情報交流センター アイーナ

